



ピース! Peace

Team Shiroyama

Peace 飛び交う、楽しい学校をつくろう!

HP <https://www.nagasaki-city.ed.jp/shiroyama-e/>

令和 5 年 6 月 1 日

学校だより 第 4 号

校長 宮田 幸治

命はなによりも大切！救命救急法の研修を行いました

「学校で子供の命を亡くすことになってしまった。」…前任校での出来事です。もうすぐ1学期が終わるといふ頃の昼休みに、元気に遊んでいた6年生の子供が突然倒れた、と一緒に遊んでいた子供が校長室に大きな声を出しながら飛び込んできました。「熱中症かも」と思いながら倒れた子供のところに行くと、瞳孔が開いて目を見開いたまま痙攣して倒れていました。明らかに様子が違います。子供の口に入った砂を出して横向きに寝かせ、保護者への連絡と119番



への電話、向かいにある救急病院に助けを求め、AEDを持ってこようことを指示して、AEDの到着を待ちました。AEDを作動させると心臓マッサージをするように指示が出され、心臓マッサージを開始し、再度、AEDを作動しました。2回目のAEDの電気ショックによって弱ながらも脈が触れたのがわかりました。そこからは、そばにいた先生や病院から駆けつけてくれた看護師さんが交代で心臓マッサージを行い、そうしているときに救急車が到着しました。30分ほど経った感覚で、救急車の到着が遅い!と思いましたが、あとで聞いてみると119番に通報してから7分ほどしか経っていませんでした。大学病院に搬送され、それに同行して医師のお話を聞いたところ、その子供は「心室細動」を起こし即死状態であったことがわかりました。

「AEDで命が救われました。」という医師の言葉にホッとしましたが、「人が倒れたらAEDを作動させる前からすぐに心臓マッサージをすることが適切ですよ。」というお叱りも受けました。その子供は、経過がよく、1か月後に学校に戻ってきました。運動の制限と生活上の制限がいくつかありましたが、元気な姿で3月に友達と一緒に卒業して中学校へ進学することができました。ご両親とお話をしながら、言葉に詰まり、共に涙しながら喜び合った卒業式でした。

子供たちが「Peace 飛び交う、楽しい学校」を作るためには、学校で安全に安心して活動できることが何よりも大切だと思います。まずは、大きな事故やけがにつながらないように、事前にどれだけその予防をしていたかが大切です。先生方とは「取り越し苦労でもいいので、ちょっとした安全面の気づきに対して手立てを打っていくこと」を話し、毎月の安全点検をはじめ事故防止策を考えています。また、事故が起きたときに適切な対応ができたか、も問われます。今回、救命救急法の教職員研修を行いました。私と同じような状況になったときに、迅速、適切に対応ができるようにするためのものです。使う場面がないようにしていくことがもちろん大切ですが、倒れた子供を目の前にして何もできずに命を亡くすこととならないように備えておかなければなりません。

6月19日(月)~24日(土)は、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」です。特に「自分の命も人の命も大切にすること」の心の教育に重点を置いた活動を行います。この週間はいつでも学習の様子を参観できますので、ぜひ子供たちと一緒に命の大切さと平和な世の中の有り難さを感じていただけると幸いです。